

市長記者会見記録

日時：2024年8月26日（月）14時00分～14時37分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：令和6年第3回市議会定例会議案等について【総務企画局・財政局】

「川崎愛 遊びつくす 3日間」11月2日～4日にかけて、100周年を盛り上げる

「Colors, Future! Summit 2024」「みんなの川崎祭」「川崎夜市」「かわむすのおんがえし」を同時開催！【総務企画局】

<内容>

【議題】

《令和6年第3回川崎市議会定例会議案等について》

【司会】 ただいまから市長記者会見を始めます。

本日1つ目の議題は「令和6年第3回川崎市議会定例会議案等について」となっております。福田市長から御説明させていただきます。市長、よろしくお願いします。

【市長】 よろしくお願いします。それでは、令和6年第3回市議会定例会の準備が整い、9月2日月曜日招集ということで、本日告示をさせていただきました。

今定例会に提出を予定しております議案は、条例7件、事件10件、補正予算10件、決算等19件、報告5件でございます。

今議会の主な議案といたしましては、初めに、議案第124号 工業用水道事業の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてでございます。

この条例は、工業用水道事業における施設の老朽化、水需要の減少などの課題に対しまして、令和4年度に川崎市上下水道事業経営審議委員会に諮問し答申を得たことなどを踏まえ、将来の水需要に応じた施設更新により、施設規模を縮小し、健全な事業運営のため、料金制度を見直すものでございます。

主な改正内容といたしましては、将来の水需要に基づく工業用水道事業の計画として、1日最大給水量の変更、施設更新に伴う建設改良費などの財源を確保するための工業用水道料金の改定や、契約水量の減量の際に徴収する負担金の導入、工業用水道事業の水源として給水する場合の水道料金の見直しなどでございます。

次に、議案第135号から第144号は補正予算でございます。このうち、一般会計の補正予算につきましては、新型コロナウイルスワクチンの定期接種や学校給食の食材料費高騰への対応でございまして、補正額は総額で18億円余でございます。

次に、議案第145号から第163号は令和5年度川崎市全会計の決算でございます。

一般会計におきましては、予算では、減債基金から120億円の新規借入を予定しておりましたが、決算では、予算に対して市税等が増収となったほか、庁舎等の光熱費の減などにより、最終的には新規の借入れを行わず、過去の借入金を10億円返済いたしました。

重点的な取組といたしましては、子育てを社会全体で支える取組として、小児医療費助成

の通院助成対象年齢を中学校3年生まで拡大し、所得制限を撤廃いたしました。また、保育受入枠の拡大や保育士の処遇改善の取組を推進し、学校教育では、かわさきGIGAスクール構想の推進やスクールカウンセラーの配置を拡充するなど、児童生徒一人一人に寄り添った支援などの取組を推進いたしました。

また、物価高騰の影響を受けた市民、事業者への支援として、燃料費や光熱費の負担を軽減する取組などを推進いたしました。

さらに、令和6年の市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェアに向けましては、様々なプレ事業を実施するなど、機運の醸成を図ったところでございます。

特別会計の13会計におきましては、各会計のそれぞれの設置目的に沿って事業を実施し、実質収支が黒字または収支均衡を保ったところでございます。

公営企業会計につきましては、病院事業は、入院及び外来収益が増加したものの、新型コロナウイルス感染症に係る補助金の減少などにより、赤字決算となっております。

下水道事業は、大雨を踏まえた浸水対策や地震対策などに取り組みながら事業運営の効率化を推進したこと、水道事業は、大規模地震を踏まえた小中学校への応急給水拠点の整備などに取り組みながら事業運営の効率化を推進したこと、工業用水道事業は、老朽化した管路の更新等に取り組みながら事業運営の効率化を推進したこと、自動車運送事業は、乗車人員が若干回復したことや、料金改定の平年度化による乗車料収入の増加等により、それぞれ黒字決算となったところでございます。

なお、議案第135号の補正予算は、10月から新型コロナウイルスワクチンの定期接種を開始するため、及び特別支援学校整備事業について、年度内契約し国庫補助金を確保するため、他の議案と分割し、先行議決をお願いするものでございます。

また、追加議案といたしまして、川崎市国民健康保険条例の一部改正及び川崎市教育委員会委員の任命の計2件を提出する予定でございますが、そのほかに川崎市立看護大学条例の一部改正につきましても、文部科学省による大学院設置認可後、速やかに提出したいと考えております。

なお、教育委員会委員の任命につきましては、任期開始が10月1日となることから、先行議決をお願いする予定でございます。

いずれの議案につきましても、川崎市政にとって重要なものばかりであります。議会の皆様とは真摯に議論させていただき、両輪となって市政を運営してまいりたいと思っております。

私からは以上です。

【司会】 それでは、ただいま御説明しました議題について質疑応答に入ります。なお、市政一般に関する質疑については、この後、2つの議題の質疑が終了後、改めてお受けいたします。

それでは、進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いいたします。

【東京（幹事社）】 幹事社の東京新聞です。よろしくお願いいたします。

報告も大丈夫ですよ。

【司会】 はい、大丈夫です。

【東京（幹事社）】 報告第18号の健全化判断比率の修正につきましてですが、これは10年前からということで、結構長期間にわたっていて、しかも発覚の経緯が、自分たちではなく議会の指摘ということでありましたけれども、このことについて、どのように、市長、受け止めていらっしゃるのでしょうか。

【市長】 やはり、こういう財政的な基礎資料となるものに間違いが生じてしまいますと、そもそも議論のベースになるところが違っているというのは、自分で言うのもなんですけれども、お話にならないということでもありますので、非常に反省しておりますし、危機感を持って受け止めなければならないと思っております。

以上です。

【共同（幹事社）】 共同通信と申します。

御説明あった補正予算のところで、学校給食の食材購入費に今回初めて一般財源から補正されるということなんですけれども、そのことについて市長の受け止めに教えてください。

【市長】 皆様御案内のとおり、給食に使う食材費の物価高騰が、非常に速いスピードで高騰しているという状況を踏まえまして、そういった意味から、現在の状況では品質を維持できないということでもありますから、やむを得ない措置として一般会計からの支出ということの決断をさせていただいたところでございます。

【東京（幹事社）】 各社、お願いいたします。

【司会】 御質問のほうはよろしいでしょうか。

【財政局】 財政課の担当でございます。

今の御質問ですが、一般会計からの支出ということですが、一般財源の支出ということで、会計ではなくて財源でございます。

【市長】 失礼しました。

【司会】 よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして1つ目の議題を終了いたします。ここで、1つ目の議題に関する関係者は退室させていただきます。

≪「川崎愛 遊びつくす 3日間」11月2日～4日にかけて、100周年を盛り上げる

「Colors, Future! Summit 2024」「みんなの川崎祭」「川崎夜市」「かわむすのおんがえし」を同時開催！≫

【司会】 続きまして、本日2つ目の議題は『「川崎愛 遊びつくす 3日間」11月2日～4日にかけて、100周年を盛り上げる「Colors, Future! Summit 2024」「みんなの川崎祭」「川崎夜市」「かわむすのおんがえし」を同時開催！』となっております。

初めに、本日御同席いただいている方を御紹介いたします。動画クリエイターでユーチューバーの水溜りボンド、カンタ様でございます。後ほどお言葉を頂戴したいと存じます。

それではまず、福田市長から本議題について御説明いたします。市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 それでは、『「川崎愛 遊びつくす 3日間」11月2日～4日にかけて100周年を盛り上げる「Colors Future! Summit 2024」「みんなの川崎祭」「川崎夜市」「かわむすのおんがえし」を同時開催!』について、私から説明をさせていただきます。

このイベント連携について30秒のイメージ動画を作成いたしましたので、まず前のモニターを御覧いただきたいと思います。

(動画上映)

【市長】 川崎市は今年、市制100周年を迎え、6月29日に等々力球場初の音楽フェスやブルーインパルス展示飛行などを実施したかわさき飛躍祭でありますとか、7月1日の記念式典などを実施してまいりました。この秋も引き続き市制100周年を盛り上げていくため、「川崎愛 遊びつくす 3日間」をキャッチコピーに、11月2日土曜日から祝日である4日月曜日まで、100周年を盛り上げるイベント4つを同時開催し、一体となって川崎を盛り上げてまいりたいと考えております。

それでは、それぞれのイベントについて御紹介いたします。

初めに、「Colors, Future! Summit 2024」につきましては、11月2日と3日に川崎市役所本庁舎やルーファ広場において開催するものでございます。市役所本庁舎のホールだけでなく、1階のカフェ等も活用しながら、会場の特徴や魅力を生かした会場ごとのコンセプトを設定したカンファレンスを実施してまいります。

次に、「みんなの川崎祭」につきましては、市役所通りを一時的に歩行者空間とし、居心地がよくウオーカブルなまちを体験していただくイベントでございまして、11月3日に開催いたします。今回、100周年を契機とした初めての試みとして、川崎駅前から国道15号までの広い範囲の6車線全線を通行止めとし、イベントを実施してまいります。川崎にゆかりのある一流のスポーツ、音楽等を体感いただくとともに、みんなが楽しめる飲食、休憩空間を提供してまいります。

次に、「川崎夜市」につきましては、11月の2日と3日に、川崎駅東口駅前広場とラチッタデッラで地元の名店が並ぶ屋台と、その前後の期間も含め、川崎駅東口一帯で開催するはしご酒イベントです。川崎特有の多様な食文化を広く発信し、川崎の夜を熱く彩ってまいります。

次に、「かわむすのおんがえし」につきましては、11月の2日から4日にかけて、川崎信用金庫様主催により、地元への「おんがえし」をテーマに川崎アゼリアで開催する物産展でございまして、川崎ゆかりの商品の販売や、地元アイドルミニLIVEなどのコンテンツを実施予定と伺っております。

こちらのイベント広報に当たっては、川崎出身で、ユーチューバーで400万人を超える登録者数を持つ水溜りボンド、カンタ様に広報宣伝部長をお願いしております。カンタ様には、後ほど広報宣伝部長としての抱負をいただきたいと思います。

このように、4つのイベントが同時に開催され、川崎を大いに盛り上げる3日間とし、市制100周年を盛り上げていきたいと考えております。

私からの説明は以上です。

【司会】 続きまして、本日御同席いただきました広報宣伝部長、水溜りボンド、カンタ様から抱負をいただきたいと存じます。カンタ様、よろしくお願いします。

【カンタ様】 ユーチューバーをしております水溜りボンドのカンタと申します。

非常に緊張しているのですが、なかなかユーチューバーをしていると、こういう場に立つ機会もないもので、たどたどしくはなってしまうと思うんですが、僕自身、川崎出身で、大学生までずっと川崎で住まわせていただいております。今回このような機会をいただけるということで、本当にうれしく思っております。

そして、ユーチューブを僕は10年間やってきたんですけども、こういうインターネットの発信をする力というもので、自分が育ってきたすてきな川崎というまちで、まちをどんどん広げていくという活動ができる機会をいただけたということは、僕の中でもすごい誇りなことですし、非常にうれしく思っております。

川崎にゆかりがあると言いますと、僕自身は大好きなまちで、緑豊かな部分もそうですし、川崎駅の近くでは、僕のおじいちゃん、おばあちゃんが鶴見の出身なので、いつもいところと一緒に川崎大師だったりとかラゾーナ川崎だったりとか、いろいろなところで遊んでいたのがすごく思い出深いところでして、そういう風土があつてこそ、僕自身も好きなことをやってユーチューバーになれたのかなと思うところも非常に多くて、少しでも恩返しができたらいいなと思って、非常に気合が入っているので、ぜひ今後ともよろしくお願いします。頑張ります。(拍手)

【司会】 カンタ様、ありがとうございました。

それでは、ただいまの議題に関する質疑に入ります。進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いします。

【東京（幹事社）】 幹事社の東京新聞です。

カンタ様、昨年のかわさき5・7・5でもすごくすてきな一句を詠まれていたのが記憶に残っているんですけども、今、川崎の緑の豊かさであつたり、川崎駅周辺の様々な施設で過ごした思い出などを語っていただきましたけれども、今回、テーマが「川崎愛」ということでもありますので、いま一度、川崎愛、ディープに語って、広報宣伝していただけますでしょうか。

【カンタ様】 川崎という、僕はそこで育っているんで、自分、当たり前になっているまちの風土だったんですけども、改めて、今30になりましていろいろと経験をしてきた中で、非常に多様性があるまちだなと振り返って思っていて、僕が住んでいたのは麻生区のほうなので、非常に緑が豊かだったりとか、岡本太郎さんの美術館があつたりだとか、そういうちょっと心を休めたりとか、それでいていろいろ商業施設もあつて遊べたりもする印象もありつつ、川崎駅のほうは映画館もたくさんあつたりだとか、工場地帯が有名だったりとか、

同じ市とは思えないような様々な体験ができる場所だなと思ってしまして、子供だった頃では、お祭りで川崎駅のほうに行くのはすごい楽しみでしたし、とにかく1日中遊べるイメージだったんですよね、お祭りがなくとも。なので、いとことも、今も映像の仕事とかも一緒にしているんですけども、すごく懐かしい話ができたりとか、非常に思い出に残っている場所がたくさんありまして、そういうところもありつつ、御年配の方も安心して暮らせたりだとか、何か僕は大好きなまちだなと思う要素がたくさんありまして、ずっと川崎市に住んでいなくなるような、川崎市が出身であるということが僕の中ですごい誇りに思っていたところがあるので、こういう形で今回任命させていただいて、自分のファンの方だったりとか、僕のことを知っている人に、何か川崎っていいよねって思ってもらうことが、すごくユーチューブをやってきてよかったなと思う、本当にやってきて、そう心から思うことというのもそう多くはないと思うんですけども、非常に誇らしく、ユーチューバーであるということも誇らしく思える瞬間でした。ありがとうございます。

【共同（幹事社）】 共同通信です。

今回、広報宣伝部長ということなんですけれども、イベントまではどういった方法で広報宣伝……。

【カンタ様】 そうですよね。広報宣伝部長って何をするのかというのは、僕次第ということでもんね。なので、取りあえず、僕、会社の広報にもなったこともないんですけども、できる限りのアイデアを使って、自分の個人のチャンネルだったり、川崎市が出身のユーチューバーさんも、調べたところいらっしゃったりだとか、そういう方と川崎の話をしたりだとか、実際にこの3日間のイベントに関わられる方々のところに行ってみたりだとか、より、その3日間に行ってみたくなるような動画を自分の中で作ってみたり、SNSをたくさん活用して、まだこのイベントを知らない人、いないかもしれないんですけど、アタックしていけばなと思っているので、そこきっかけで、当日来て、イベントが終わった後に「行ってよかったよ」なんて言ってもらえたら、僕がやってよかったのかなと思えると思うので、非常に、できることを全部やりたいなという気持ちでございます。

なので、お仕事ではありつつ、お仕事だと思っていないというか、もう愛をただ表現すればいいということでもんね。頑張ります。

【共同（幹事社）】 ありがとうございます。

【東京（幹事社）】 各社、いかがでしょうか。

【司会】 御質問のほうはよろしい……。

【神奈川】 神奈川新聞といいます。

【カンタ様】 よろしくお願ひします。

【神奈川】 さっき、川崎大師は普通に初詣とか、そんなイメージでいいですか。遊びに行っていたというか。

【カンタ様】 そうですね。年末は、おじいちゃん、おばあちゃん家にいとこたちと全員で集まって、紅白を見て、11時半ぐらいからみんなで川崎大師のほうに移動して、みんな向

かっていくところだったりとか、僕の中では、新年といえどというイメージが、ちっちゃい頃から毎年それをやっていたので、すごいついてるので、非常にいい思い出だったりとかしています。

【神奈川】 小さい頃というと、5歳とか。

【カンタ様】 5歳もそうですし、でも中学校の頃とかもずっと集まったりしていて。そうですね、川崎フロンターレの中村俊輔選手がたしかいらっしやったタイミングとかもあった……。

【神奈川】 憲剛、中村憲剛選手ですね。

【カンタ様】 中村俊輔選手は。

【神奈川】 マリノス。

【市長】 マリノスですね。

【カンタ様】 そうでしたっけ。すみません。そうか、そうか。そういうことで、いろいろとフロンターレのことを応援したりとかも、ちっちゃい頃、した思い出があります。

【神奈川】 そういう中で、さっき川崎のユーチューバーもいるということをおっしゃったんですが、もう既に打診なり、その話はしているんですか。

【カンタ様】 そうですね……。

【神奈川】 今明かせられるもの、ぜひ教えていただければ。

【カンタ様】 自分なりに幾つかもうお話はしていて、何か面白い……。というか、みんな驚いてくれますね。川崎市とそんなことができるんだというところで。

【神奈川】 今の段階で話せられるユーチューバーはいらっしゃいますか。もうこれは確実にいけるだろうじゃないですけど。

【カンタ様】 どうでしょうね。確実に行けるというのは分かりませんが、ゆゆうたさんというユーチューバーの方だったりとか、小豆ちゃんという、僕、どちらの方も仲よくしているんですけれども、川崎出身だというお話もあるので、ちょっと声はかけてみようかなと思っております。

【神奈川】 分かりました。どうもありがとうございます。

【カンタ様】 ありがとうございます。

【読売】 読売新聞です。

広報宣伝部長ということで、市と一緒にやって宣伝していくことで、具体的にこの3日間は何万人規模の川崎市民というか、来場者数が目標になっているイベントになってくるのでしょうか。

【市長】 何万人かな。何かそういうのって。担当からでよろしいでしょうか。

【総務企画局】 昨年度のイベントとしまして、みんなの川崎祭が4万人、ルーフアのほうで1万人以上というところですので、今年はそれ以上の方がいらっしゃるような形でまちを盛り上げていきたいと考えているところです。

以上です。

【市長】 ちょっと目標少なめですよ。もっと来るという。

【朝日】 朝日新聞ですけど、市役所通りを歩行者天国にするのは初めてではないですか。過去にありましたっけ。

【市長】 昨年は初めて片側車線をやらせていただきましたけれども、今回は6車線全部という形になるのは初めてのことです。

【朝日】 昨年在片側を初めてやられて、今年が全面歩行者天国にするということですね。

【市長】 そうです。

【朝日】 ありがとうございます。

【司会】 御質問のほうはよろしいですかね。

よろしければ、それでは、以上をもちまして2つ目の議題の質疑を終了いたします。

続きまして、記念撮影をいたしますので、水溜りボンド、カンタ様と福田市長は前方中央のほうにお集まりください。セッティングに少しお時間を頂戴いたします。

よろしければ、報道機関の皆様、撮影のほうをお願いいたします。

(写真撮影)

【司会】 ありがとうございます。

水溜りボンド、カンタ様にはここで御退席いただきます。ありがとうございます。

【カンタ様】 ありがとうございます。よろしくお願いします。(拍手)

【市政一般】

《南海トラフ地震臨時情報・台風7号への対応等について》

【司会】 また、2つ目の議題に関する関係者も退室させていただきます。

それでは、引き続きまして、市政一般に関する質疑をお受けいたします。進行については、幹事社様、よろしくお願いいたします。

【東京（幹事社）】 よろしくお願ひいたします。今年の夏休み、8月、南海トラフの話があったりですとか台風7号もありまして、市長も落ち着かない夏休みだったんじゃないかなと思うんですけども、今回、台風7号の高齢者等避難は、ほかの自治体と比べると早めのタイミングで出したこともあったかと思ひますけれども、そこら辺の考えも含めて、防災に対する意識について、改めて伺えますでしょうか。

【市長】 まず、台風に関しては非常に判断に迷うところではありました。気象台長をはじめ、気象台の皆さんや気象協会かな、とも緊密に連携を取りながら判断したわけですけども、実際、夜中の3時が一番降雨が集中するという情報もあったり、あるいは民間の会社ではそれほど降らないのではないかとかという非常に難しいところでしたけれども、あくまでも気象台の情報を軸にして取りました。高齢者避難という形をいたしました。

結果的に、それほど大きな影響はなかったのによかったと思ひますけれども、南海トラフの警戒体制が取れるタイミングで台風の影響が来るというような状況でしたので、ある意味、複合災害の危険性もあるということから、念には念を入れてという体制になりました。

課題もいろいろありましたので今後に備えていきたいと思ひますし、今後というか、もう

すぐにでも、今週、台風が迫ってきておりますので、それにつなげていきたいと思っております。

【東京（幹事社）】 今、課題も見えたというお話がありましたけれども、具体的にはどのようなことになりますでしょうか。

【市長】 私とすれば、情報伝達の仕組みをやりながら工夫した部分もあるんですけども、もう少ししっかりできた部分があるのではないかなということですか、あるいは区役所の皆さんにも、避難所開設の準備というのは、前日のかなり早い段階から既にお願いをしていたんですけども、それでもやはりこの時間までに開けようといった時間には少し間に合わなかったと。かつ、開設されたということを一元集約するのに少し時間がかかったということもありまして、そこは課題として残ったんだと思っております。

【東京（幹事社）】 ありがとうございます。

《パリ2024オリンピックにおける本市ゆかりの選手の活躍について》

【共同（幹事社）】 共同通信です。

明るい話題で、パリ五輪のブレイキン女子でAMI選手、湯浅亜実選手が金メダル取られて、聖地から金メダルが出たことに関して、受け止めをお願いします。

【市長】 むちゃくちゃうれしいです。やっぱりブレイキン、男女ともメダルを期待していました。AMI選手が金メダルという快挙を成し遂げていただいたことは、ブレイキンはじめ若者文化を応援してきている川崎市として、そして本市ゆかりの選手として金メダルを取っていただいたというのは、市民の皆さんはもちろんそうですし、この競技に携わっている多くの若者がいるので、そういう人たちに大いに勇気づけたんじゃないかと思いますし、ブレイキンの競技そのものが市民の皆さんによく知っていただく、とてつもなく大きなきっかけになったと思っていますので、そういった意味でも感謝したいなと思っています。本当によかったです。

半井選手、Shigekixも、惜しくもメダルには届きませんでしたけれども、オリンピックの顔として十二分な活躍をされたと思っていますので、そういったところにも感謝したいと思っています。

【共同（幹事社）】 ありがとうございます。

各社さん、お願いします。

《南海トラフ地震臨時情報・台風7号への対応等について》

【朝日】 どうも、朝日新聞でございます。

南海トラフの注意情報が出たことについて、市長として、浮かび上がった課題や、あと国への要望が何かあれば教えていただけますか。

【市長】 そうですね。やはり南海トラフというと、やや西日本を中心というのが一般的に感覚としてはあるのではないかと思います。正式名称があれでしたけれども、警戒対象地域というのが、横浜までは入っているんだけど川崎はぎり入っていないみたいな話なんですけれども、しかし危機感としては一緒だと思うんです。何を準備したらいいのかというの

は、市民の皆さんにも、備えをしっかりとやっていただく意味でも、改めて南海トラフとは何ぞや、あるいは南海トラフとして連動して起こり得るようなことは何だろうということに関心を持っていただけるきっかけとなったと思いますし、まだ注意の状態というのは取れ……、政府的にはそうなのかもしれませんが、引き続き緊張感を持っていきたいと思っております。

【朝日】 国への注文みたいなのはございますか。

【市長】 今回の注意というのが初めてのケースであったので、みんな、やや、非常に戸惑った部分があると思います。そういった意味では、どういったことが起こり得るのかということの広報、啓発に力を入れていただきたいというのは思います。

【朝日】 ありがとうございます。

【司会】 ほか、御質問のほうはいかがでしょう。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして定例市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当